

いわぬまぶんかざいつうしん 岩沼文化財通信

ななさき やこうじ
☆七崎八小路「七崎」☆



岩沼市マスコットキャラクター
岩沼係長

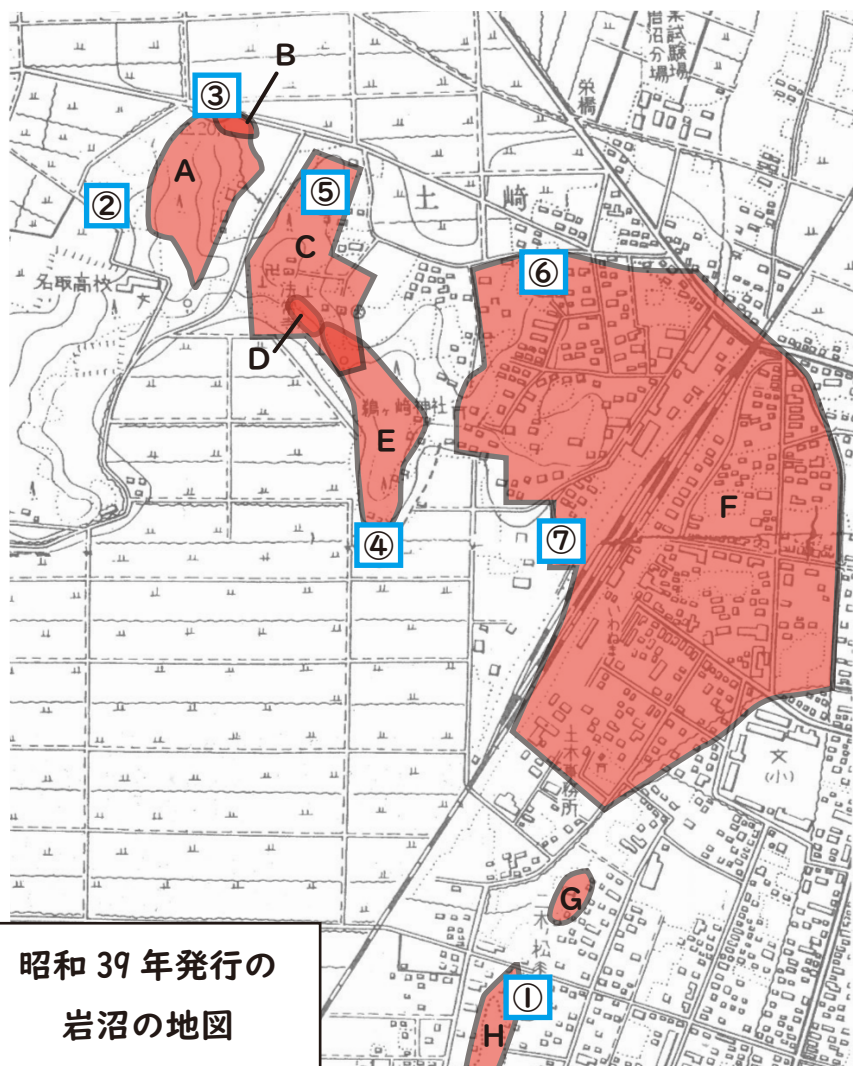
第 51 号

2026 年 9 月 25 日発行
岩沼市ふるさと展示室
(市民図書館2階)
TEL : 0223 - 25 - 2302

これまでの通信
はこちらから！



今回は「七崎」を紹介します。これは江戸時代の終わりごろに、旧岩沼町の崎（丘陵の地形）を数えて名付けられたと考えられます。今ではあまりこのような名称は使用されていませんが、これまでに刊行された書籍の中には、「七崎」という言葉は登場しているようです。遺跡との位置関係も興味深いですね。



昭和 39 年発行の
岩沼の地図

☆七崎の位置と名称（左の地図と対応）

- 七崎
- ① … 稲荷崎 (いなり)
 - ② … 松崎
 - ③ … 鷺崎 (わし)
 - ④ … 堂ヶ崎 (土ヶ崎)
 - ⑤ … 観音崎 (かんのん)
 - ⑥ … 鼻輪崎 (はなわ)
 - ⑦ … 鵜ヶ崎 (うが)

遺跡の範囲 (A～H)

①～⑦ 遺跡の範囲

- A … 朝日古墳群
- B … 鷺崎横穴墓群
- C … 朝日遺跡
- D … 石垣山横穴墓群
- E … 土ヶ崎横穴墓群
- F … 鵜ヶ崎城跡
- G … 丸山横穴墓群
- H … 二木横穴墓群

岩沼の「七崎」は古いもので『風土記御用書上』江戸時代の安永2年（1773年）に、稲荷崎、松崎、鷺崎、堂ヶ崎（土ヶ崎）、観音崎の5つが記されています。残る2つの崎がいつ追加されたかは不明ですが、明治43年（1910年）に発行された『岩沼のしおり』の中では、鼻輪崎と鵜ヶ崎を加えて七崎という呼称が使用されています。

上の図では、「七崎」の推定地の周辺にある遺跡也表示しました。「崎」という場所が、地形や地質などの特性上、横穴墓をつくる環境に適していたと考えられるので、崎の推定地の近くには亡くなった人を埋葬する場所（横穴墓群や古墳）が多くありますね。次回は八小路について紹介します。

これは
びっくり！

ふるさと展示室
キャラクター
あぶ
阿武クマさん

・仙台に「七坂八小路」と総称される坂や道があります。岩沼の「七崎」はこの仙台的呼称にならったものと考えられ、丘陵の多い岩沼のそれぞれの地形（崎）をまとめて「七崎」という呼称で表していました。

* 参考資料：千葉宗久 2012 年『いわぬま歴史散歩』